



## 問題と回答例

**Q.** Some people think English should be taught starting from the first grade in elementary school. What do you think about this? Give at least one reason to support your opinion.

## B1 回答例



I think students should be taught English from first grade. I have two reason. First, we can skill up English speaking skills like in pronunciation. Second that experience of learning from young age is useful in the future so I think students should be taught English from first grade.

## B1の特徴

**社会的な問題に対してある程度明確に意見を言ったり、長めの発話ができます。**

## B2 回答例



I agree with the opinion because children will learn how to speak and understand English much better than when they are adult. The younger they start learning the more native-like speaking is possible. Native-like English speaking ability will make it possible for them to complete and debate more globally and will be good for the future of Japan too, because companies will be stronger in the world if workers speak Native-like English.

## B2の特徴

**さらに発話の内容が複雑になり、その複雑な内容を明確な流れのロジックで話すことができます。**

※回答例には、意図的に誤りを含めていることがあります。

## B1 → B2を目指すための指導案

## 目標

社会的な問題などについて、ある程度の長さの意見を明確な流れのロジックで発話する



目安時間

40分

## 準備物

ディベートのトピック(例:英語教育の早期化)/タイマー

※他のトピックの例は、P.21を参照。

## ステップ

1

(全体)

- トピックを生徒に見せる。
- 意見をサポートする理由を生徒に出してもらい、簡潔に板書する。
- それぞれの理由をサポートする具体例や意見などを生徒から引き出し、黒板にキーワードを英語で書き出す。
- 同様に、この意見に反対する理由とそれをサポートするものを生徒から引き出す。



## ステップ

2

(各自)

- トピックに対して、スピーチの準備時間(1~2分)を与える。
- 各生徒に理由を2つ、それをサポートする具体例を考えさせる。
- スピーチの構成を考えながら発表する準備をさせる。



B1以上では、客観的な視点を入れながら、ある程度自分で論を組み立てる必要がある。そのため、発表するまでに準備時間が必要となる。場合によっては、宿題として事前に調べてきてもらうとよい。



## ステップ

3

(グループ)

- 生徒を4人1組のグループに分け、生徒に順番に発表させる。
- 1人の発表が終わるたびに、聞いていた人から質問させる。
- その際、質問する人は、「話している人と反対の意見を持っている」という立場から質問する。



質問するときは、いきなり質問するのではなく、「あなたは〇〇と言っていましたね。その点についてですが、〇〇についてはどう思いますか?」「あなたの〇〇という点には賛成です。しかし、〜」というように、発表者の意見に触れながら質問をさせるようにする。



## ステップ

4

(全体)

- クラス全体で、意見に賛成の人数と、反対の人数を数える。
- ステップ3でよくできていた生徒のうち賛成1名、反対1名に発表してもらう。
- 各発表者のスピーチの構成についてクラスで確認する。理由は何だったのか、それをサポートするものは何だったのか、生徒に聞き、板書する。
- 特によかった点を褒める。



POINT

**教師の関わり方:**生徒から意見を引き出す場合は、日本語でも英語でもどちらでも構いません。生徒にとって日本語の方が意見が出しやすくと教師が判断した場合、日本語を進めてください。